

1. 主な研究内容について

リハビリテーション学と建築学の融合を果たす研究を行っています。「住マイルリハビリテーション®」学の構築を目指して、転倒予防に関する研究等に取り組んでいます。主な研究テーマは、「高齢者の転倒予防」、「福祉住環境整備」です。

具体的には、急性期病院の退院患者に対する自宅見取り図を用いた再転倒予防指導の有効性に関する多施設共同研究の遂行や、UR 都市機構のモデルルーム改修事業へ参画（「転倒予防・介護予防のお部屋」を監修）すること等で、退院患者や地域在住高齢者の豊かな生活に寄与すべく活動を行っています。得られた成果や知見に対して、社会的認知及び普及を促進させ、それに向けての政策立案を支援していきたいと考えております。

※「住マイルリハビリテーション」は公立大学法人大阪の登録商標です（2022年4月14日に商標登録）。

高齢者や障がい者へ向けての住環境の提案や、在宅でのリハビリテーションの助言・提案を行っていく概念。

2. 主な共同研究先

本学生活科学研究科（居住環境学分野）

八尾徳洲会総合病院、徳洲会グループ

UR 都市機構

株式会社 ORPHE

NPO 法人 すまいるセンター

羽曳野市保健福祉部

3. 今まで指導した学位論文名

<博士論文>

なし

<修士論文>

なし

4. 主な論文

- Ueda T, Higuchi Y, Murakami T, Kozuki W, Hattori G, Nomura H: Fall prevention program using home floor plans in an acute-care hospital: a preliminary randomized controlled trial. International Journal of Environmental Research and Public Health, 9(17), 1-9, 2022.
- 上田哲也: 【地域のなかの豊かな活動を育む】地域のなかで、「リハビリ」×「建築」の融合を図る. 日本転倒予防学会誌, 9(1), 15-16, 2022.
- Ueda T, Higuchi Y, Hattori G, Nomura H, Yamanaka G, Hosaka A, Sakuma M, Fukuda T, Fukumoto T, Nemoto T: Effectiveness of a tailored fall-prevention program for discharged older patients: a multicenter, preliminary, randomized controlled trial. International Journal of Environmental Research and Public Health, 19(3), 1-9, 2022.
- 上田哲也: 退院前患者に対する自宅内転倒予防介入. 地域ケアリング, 23(3), 77-80, 2021.
- Ueda T, Higuchi Y, Imaoka M, Todo E, Kitagawa T, Ando S: Tailored education program using home floor plans for falls prevention in discharged older patients: a pilot randomized controlled trial. Archives of Gerontology and Geriatrics, 71, 9-13, 2017.

5. 現在の指導している大学院生数

なし

6. どのような大学院生の受け入れを希望するか？

リハビリテーション学と建築学の融合に関心があり、研究に対して、真摯に取り組もうとする熱意ある方を希望します。職種は問いません。得られた成果や知見を、積極的にアウトプットしていくことを目標とします。

我々とともに、「住マイルリハビリテーション®」学の構築を目指して、進めていきましょう。